

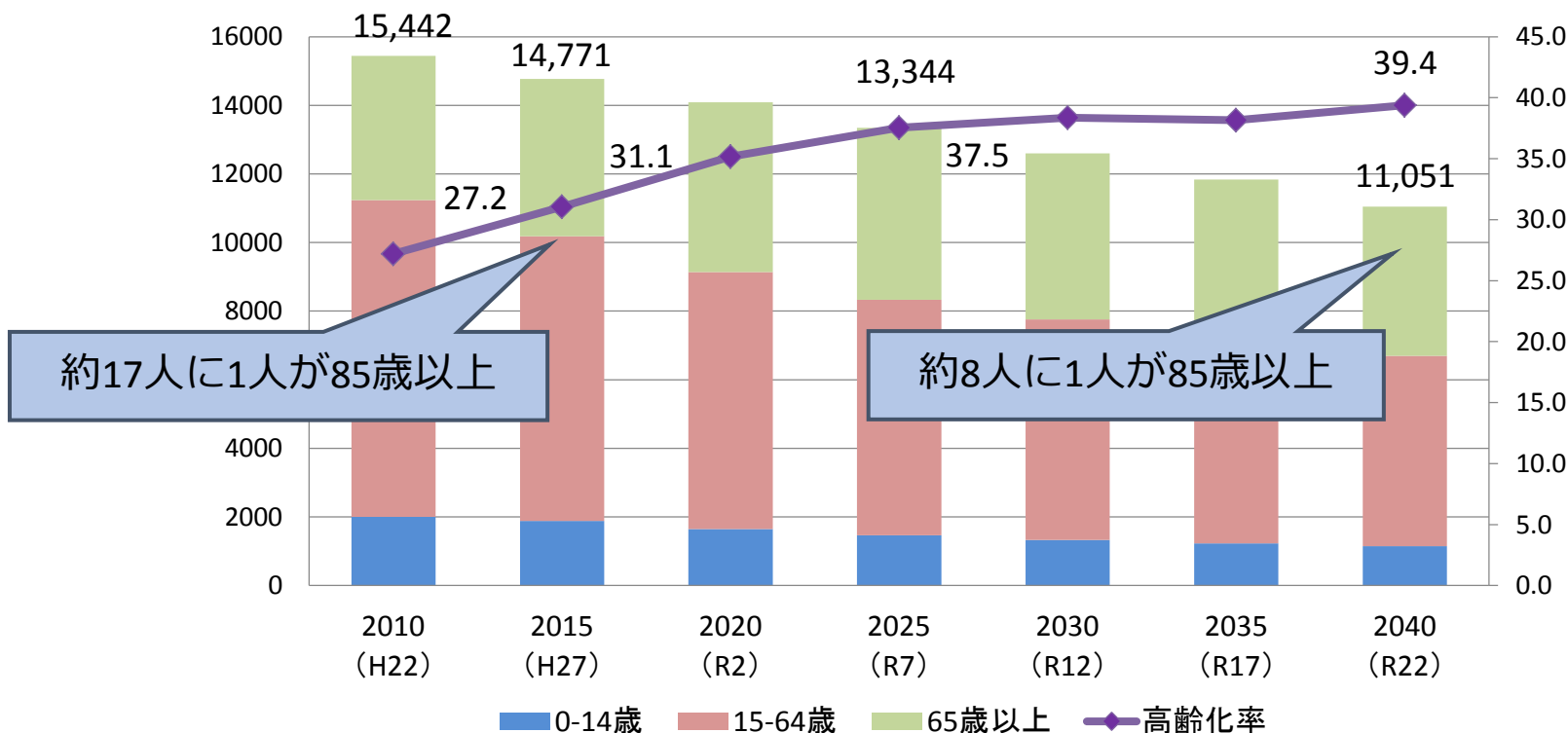
北栄町の地域づくり政策 (福祉、健康、防災) について

令和元年10月19日 ほくえい未来トーク

北栄町の高齢化の状況

- 北栄町で高齢者数（65歳以上）がピークになるのは2025年。少子化の影響もあり、高齢化率（人口に占める高齢者の割合）は増加していく見込み。
- 高齢者の中でも85歳以上の伸び率が高い。また、高齢者のみの世帯の増加も見込まれている。
- 高齢になっても、生きがいをもって元気に過ごすことができるよう、健康づくりや生きがい対策の取組みを行うとともに、互助活動を含め、生活の困りごとへの支援の充実が必要。

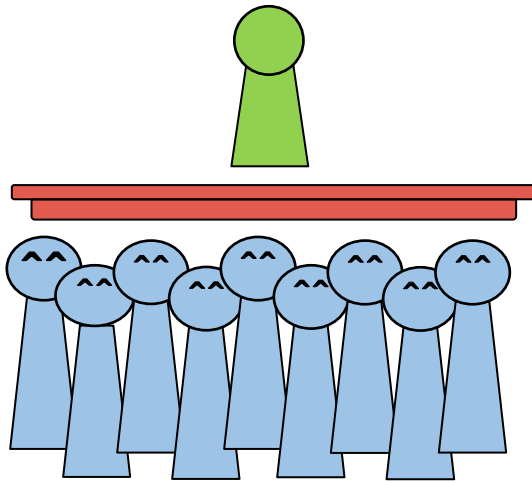
総人口と高齢化率の推移（推計）



【参考】支える側と支えられる側のバランス

- 2050年には、高齢者1人を1.2人の人で支える「肩車型」になるといわれています。

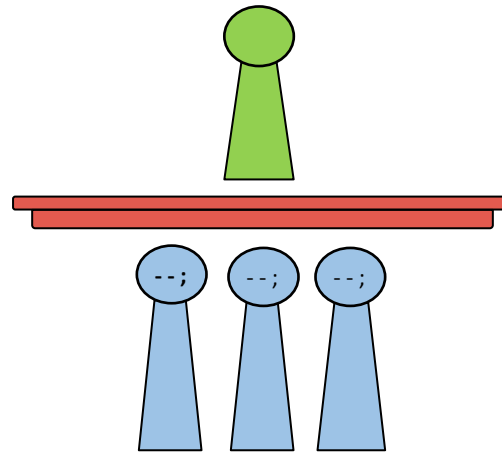
<1965年>
「胴上げ型」



65歳以上1人に対して

20～64歳は
9.1人

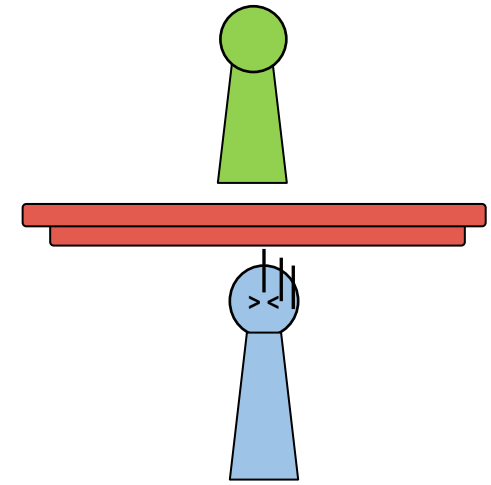
<2012年>
「騎馬戦型」



65歳以上1人に対して

20～64歳は
2.4人

<2050年>
「肩車型」



65歳以上1人に対して

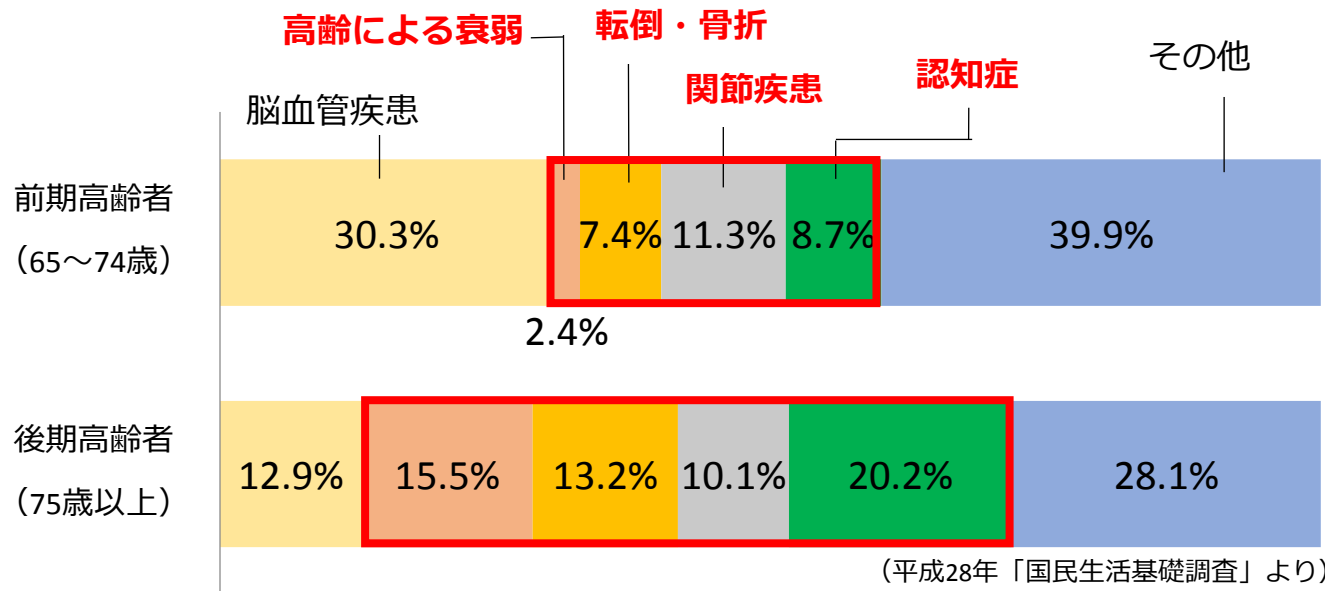
20～64歳は
1.2人（推計）

（出所）総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位）、厚生労働省「人口動態統計」

【参考】高齢者の要介護状態になる原因

- いつまでも自分らしく、自立して生活するためには、買い物や掃除、外出や食事など、日常生活を送るための機能を保つことが重要とされています。
- 一般的に、75歳を超えると生活習慣病などの病気で健康を損なうおそれがあるだけでなく、筋力や食欲の衰えなどから心身の機能が低下して、日常生活に支障がでるおそれがあります。
- 何歳からでも心身の機能、生活機能を向上させることが可能です。
- 「**社会参加（外出・交流・地域活動など）**」「**食生活（栄養）**」「**運動（体操、ウォーキングなど）**」を日常生活に取り入れることが大切といわれています。

要介護状態の原因



高齢になるほど、虚弱が原因で介護が必要になりやすくなります。

高齢者の生きがい対策に関する取組み

- 北栄町では、高齢者の生きがいや健康づくり（介護予防）の取り組みを進めています。
- あわせて、見守りや声かけなど地域で助けあったり、相談しあえる地域づくりを進めています。

送迎付きで行っている事業

- ◆ 運動機能向上のための教室（シニアフィット教室・パワーリハビリ教室・転倒予防教室・こけないからだ講座）
- ◆ 認知症予防教室（リフレッシュ教室・はつらつ!お達者教室・食べて!うたって!笑わー会!）
- ◆ 上記のほか、社会福祉協議会主催で「健康体操教室」を実施



地域の中で行っている事業

- ◆ 高齢者サークル事業（5人以上で気の合う仲間が集まって行うグループ活動に対し活動費を補助）19団体
- ◆ いきいきサロン事業（地域の仲間づくり、出会いの場づくりとして、主に公民館で開催。運営の経費を町・社協より助成）H30年度：45自治会で964回開催
- ◆ 上記のほか、各地区で自主的に開催されている居場所もあります。



生活や移動支援に関する取り組み

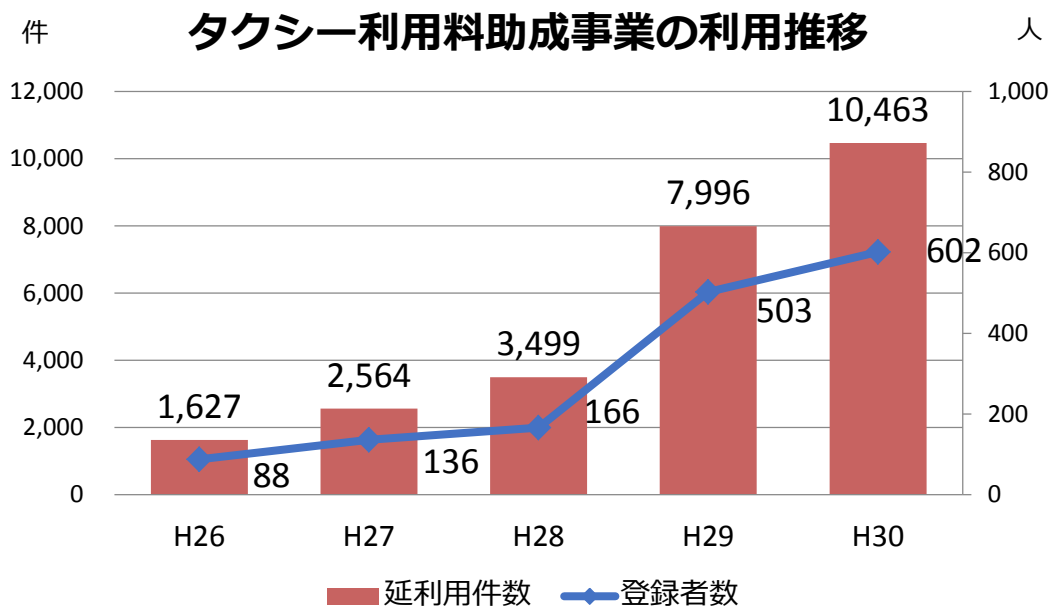
- 生活の困りごとに対しては、公的なサービスだけでは支えきれないため、いろいろな主体によるサービスの充実が必要です。
- 食料品など生活に必要な物品の購入や移動に関する心配の声は多くあり、高齢化が進む中、対策の充実を検討する必要があります。

生活の支援

- ◆ あったか♥まごころサービス
 - 社会福祉協議会と連携して事業開始（H29.4～）
 - 生活支援サポーターによるちょっとした困りごとへの有償サービスを実施。（30分250円）
- ◆ お弁当の配達サービス（社協などの社会福祉法人等が実施）
- ◆ シルバー人材センター
- ◆ 鳥取県生協「くらし助け合いの会」

移動に関する事業

- ◆ タクシー利用料助成事業
 - 自動車を運転できない方や運転免許証を自主返納された方などを対象にタクシー利用料を助成
 - 月8枚（年間最大96枚）交付
 - 1回の乗車につき、利用者負担は最低300円。町が800円を上限に助成
 - 出発地点または到着地点が町内であることが条件。外出先は問わない。
- ◆ 在宅通院支援事業
 - 高齢者、障がい者（要介護認定や手帳の所持等の要件あり）で公共交通機関を利用できない方を対象に、医療機関への通院に対し、タクシー利用料を助成
 - 町内は一律片道200円。町外は距離に応じた料金設定（最大1,000円の自己負担）
- ◆ 乗りあいタクシー
 - 運行経路：西高尾駐車場～青山剛昌ふるさと館（1日5往復運航）
 - どなたでも利用可能
 - 利用30分前までに要予約（第1便は前日までの予約）



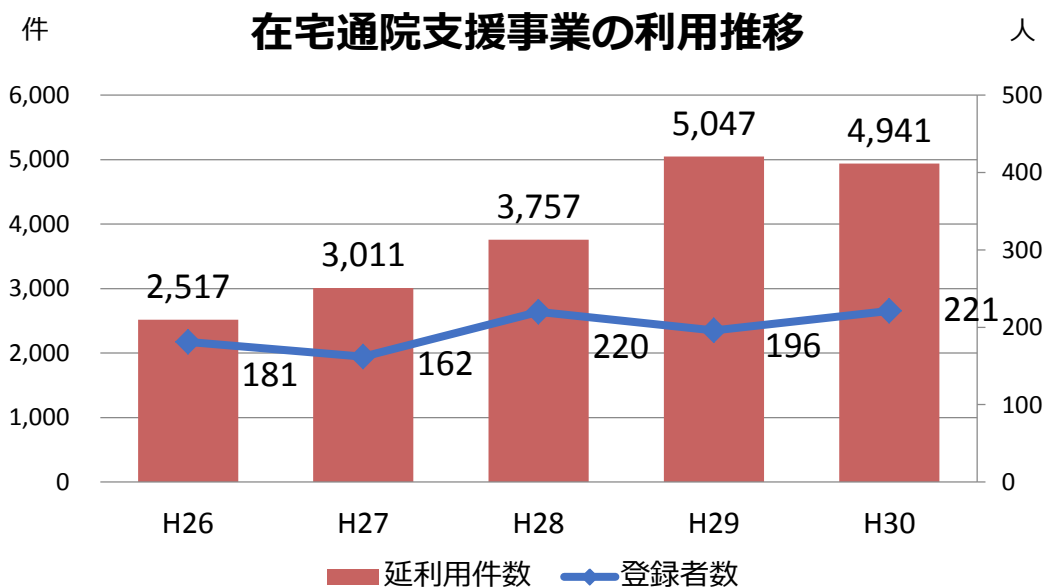
◆タクシー利用料助成

地域を限定した事業でしたが、H29年度から利用地域の制限をなくし、町外への利用も可能としました。その後、登録者・利用件数も伸び続けています。

(参考) 小型タクシー利用の場合

出発	到着	km	自己負担 (概算)
北条支所	河北東宝	4.0	550円
松神公民館	由良東宝	3.4	370円
大谷公民館	由良東宝	3.3	370円
亀谷公民館	由良東宝	4.0	550円
西高尾公民館	アパート	9.7	2,080円

※最低自己負担額300円で移動できる距離は、小型タクシー利用の場合概ね3.2キロ (R1.9末)

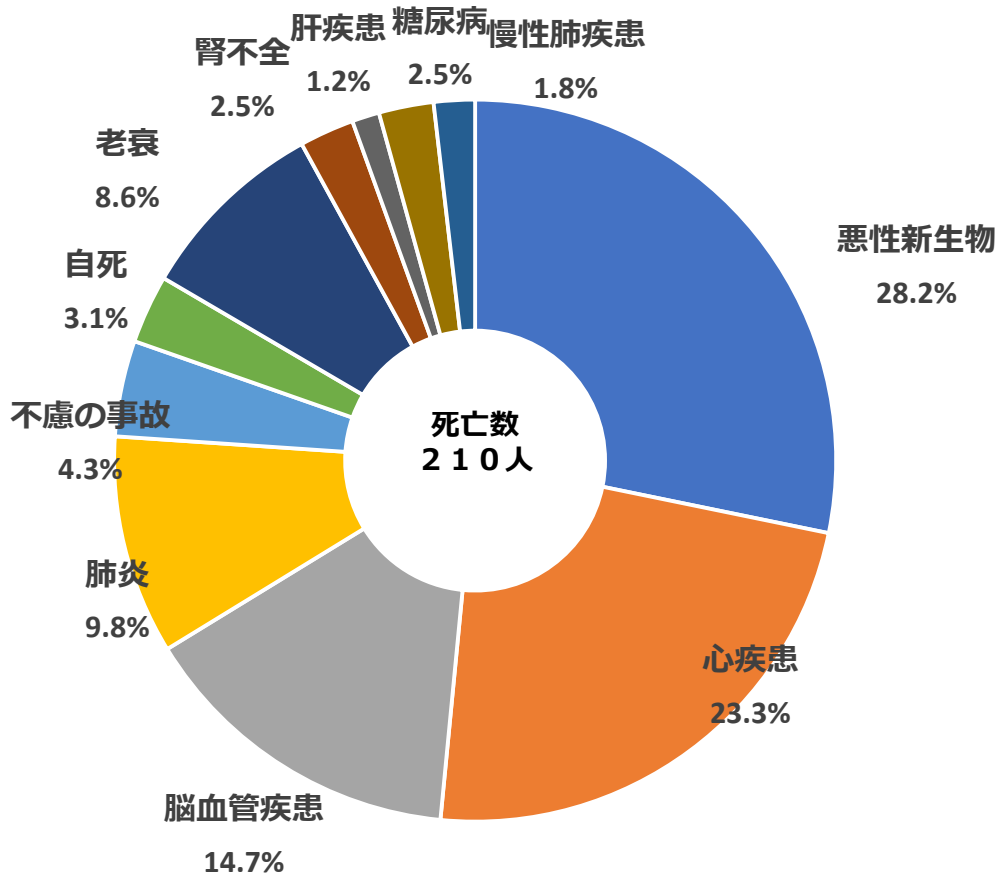


北栄町の健康に関する現状、健康政策の目的

近年の便利な社会は、運動不足や食の多様化をもたらし、コミュニケーション不足は体と心の健康を脅かす要因となっている。

⇒北栄町は、「**病気の有る無しに関わらず誰もがそれぞれの生きがいを持ち、自分らしく安心して楽しく暮らすことができる**」生活を目指すことを目的に、健康政策を展開。地域・組織・行政等が連携し、幅広い世代の健康づくりを推進している。

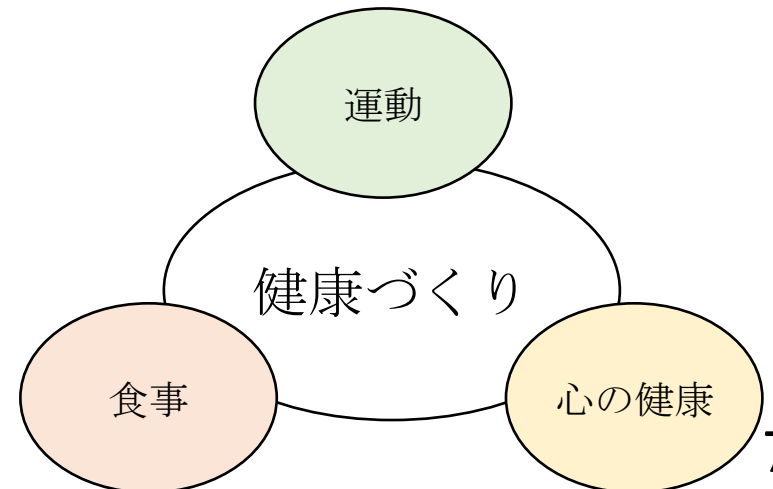
H29年度10大死因別割合（北栄町）



北栄町の主な健康に関する施策

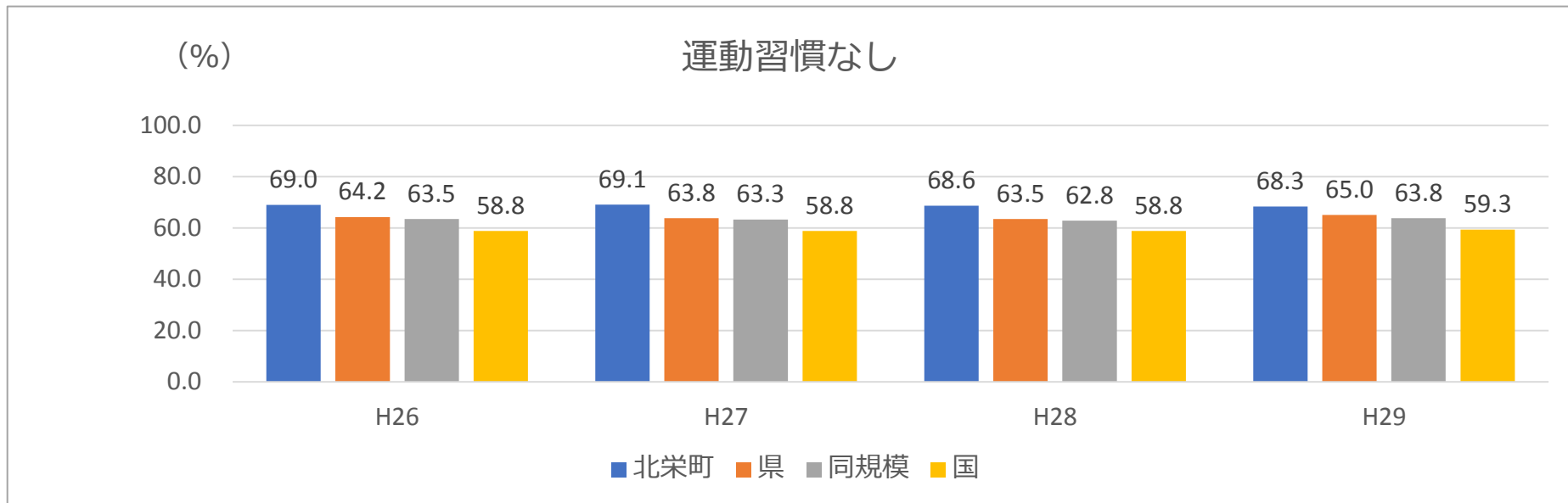
- (1) 運動習慣の定着
- (2) 健全な食生活の定着
- (3) 心の健康づくり
- (4) 健康診査の充実
- (5) 生活習慣病の予防

健康づくりの基本

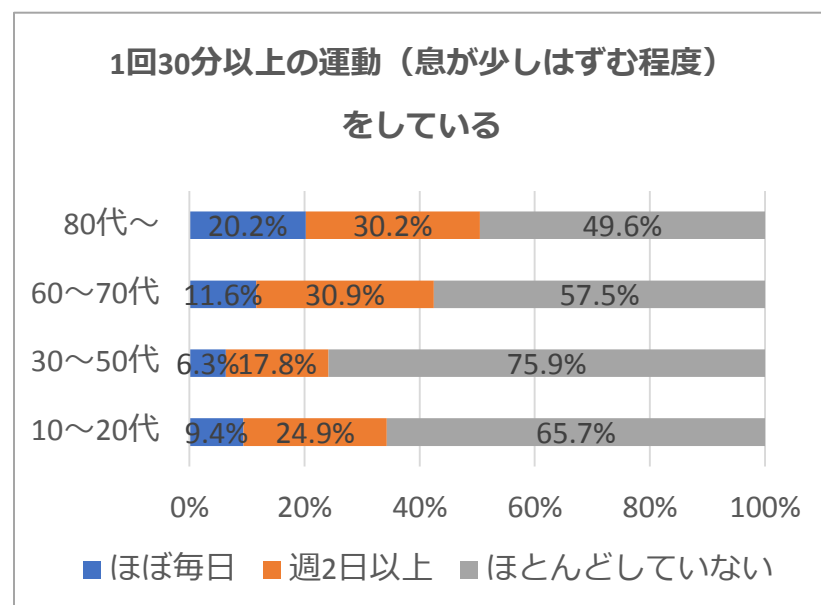
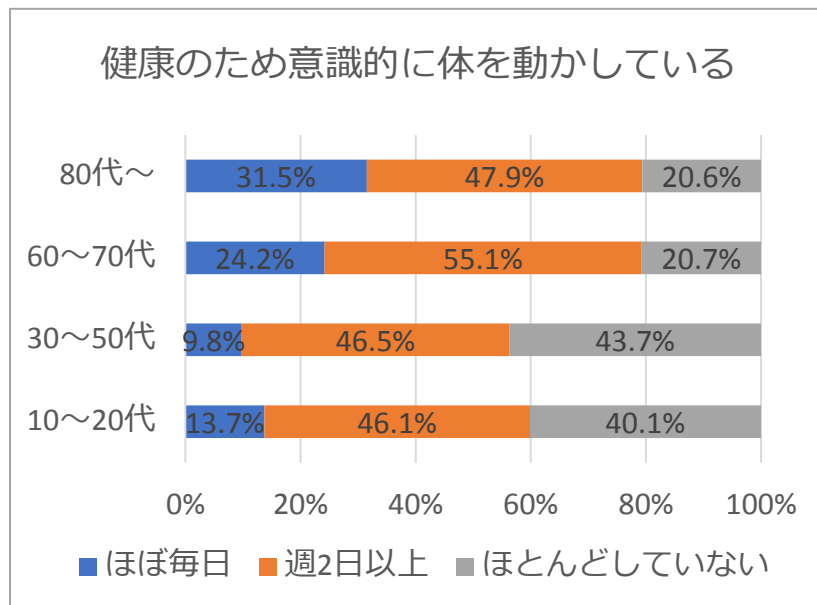


北栄町の健康に関する施策（1）運動習慣の定着

○特定健診の質問票より



○暮らしと健康に関するアンケート（H29）より



問題・課題

運動習慣がない人の割合が、他と比較して高い。
生活が便利になり、歩くことが少なくなっている。

それぞれができること

地域や団体

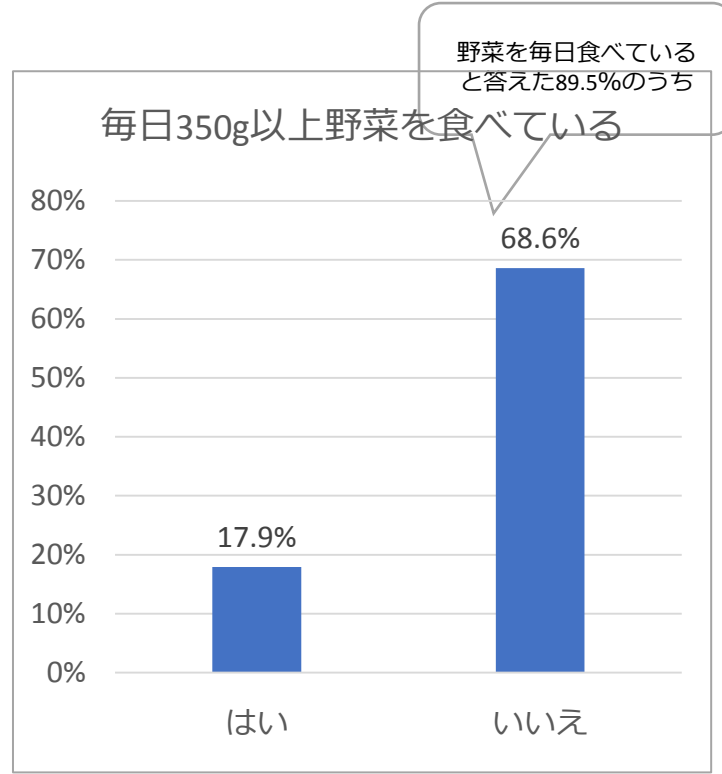
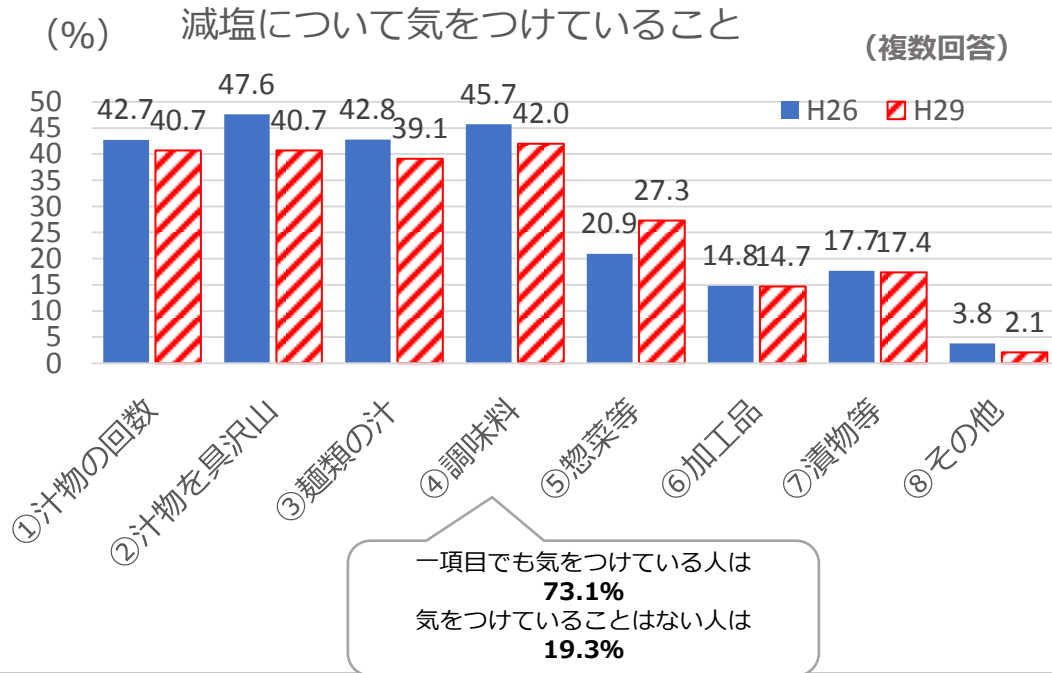
運動を継続している人を励ます。
スポーツクラブで運動習慣を推進する。

行政

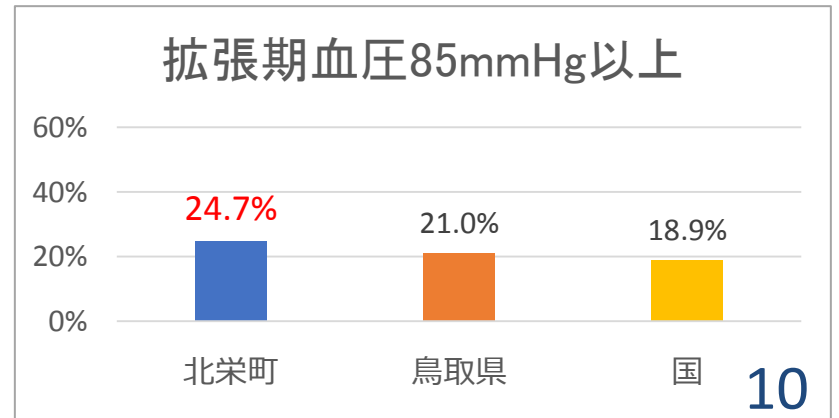
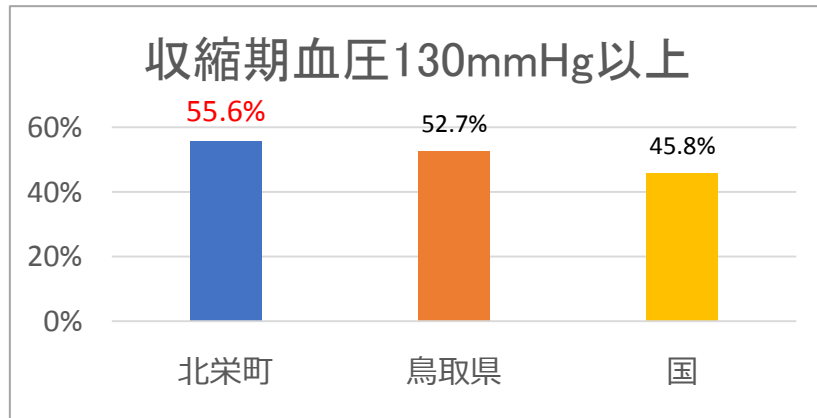
運動と健康管理について情報発信する。
町民大会や郡民大会の参加者を運動習慣につなげる。

北栄町の健康に関する施策（2） 健全な食生活の定着

○暮らしと健康に関するアンケート（H29）より



○特定健診結果より（H29） 血圧



問題・課題

惣菜や加工品の減塩についての意識が低い。（高血圧の原因）
野菜を350g食べている人はまだ少ない。

それぞれができること

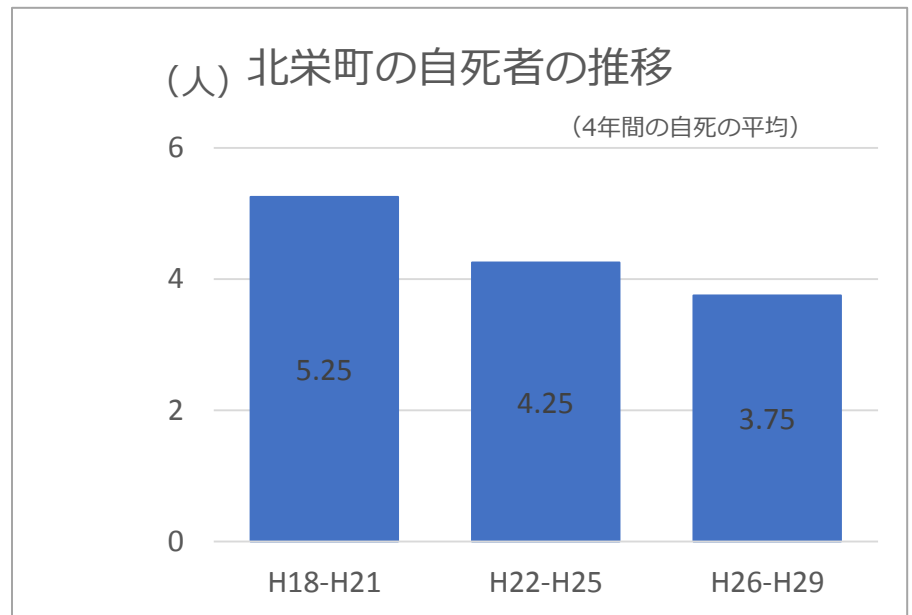
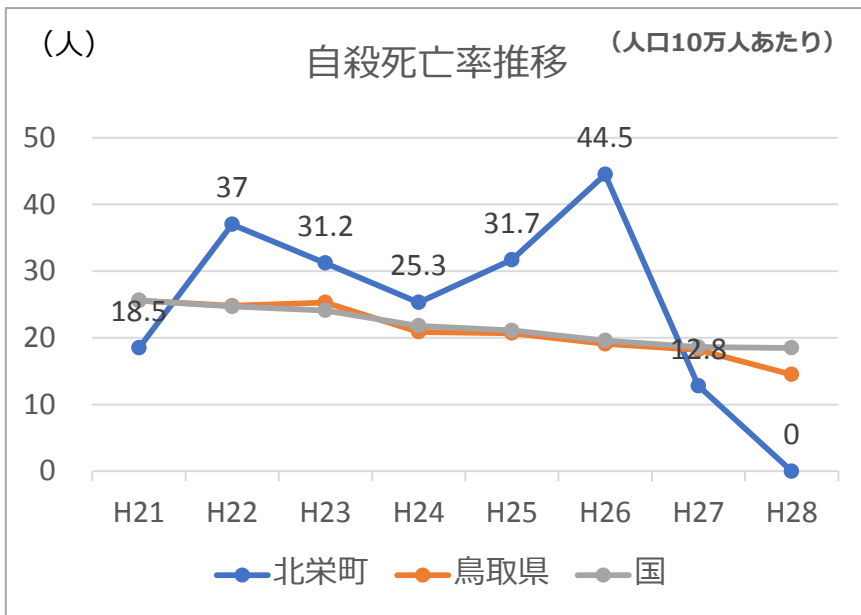
地域や団体

- 学校や保育所等で食育を推進する
- 地域で食育を考える

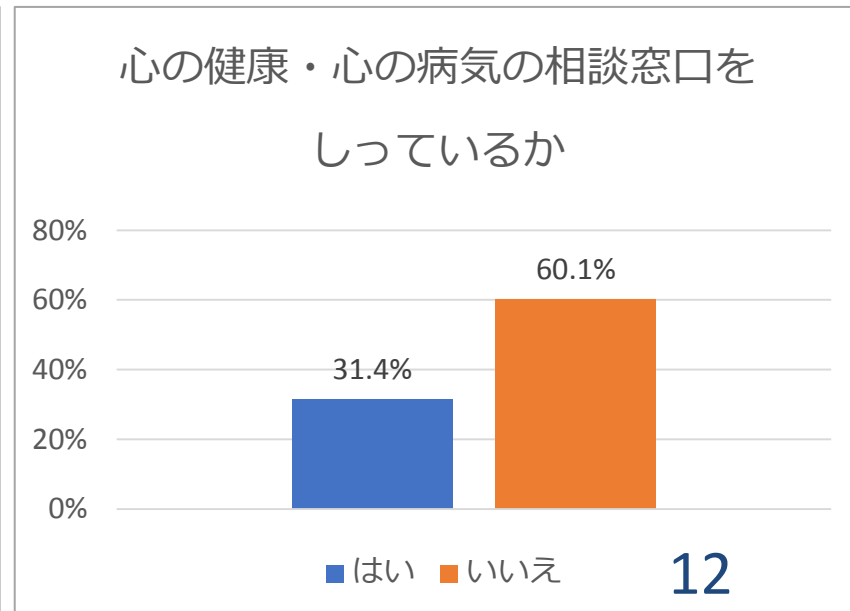
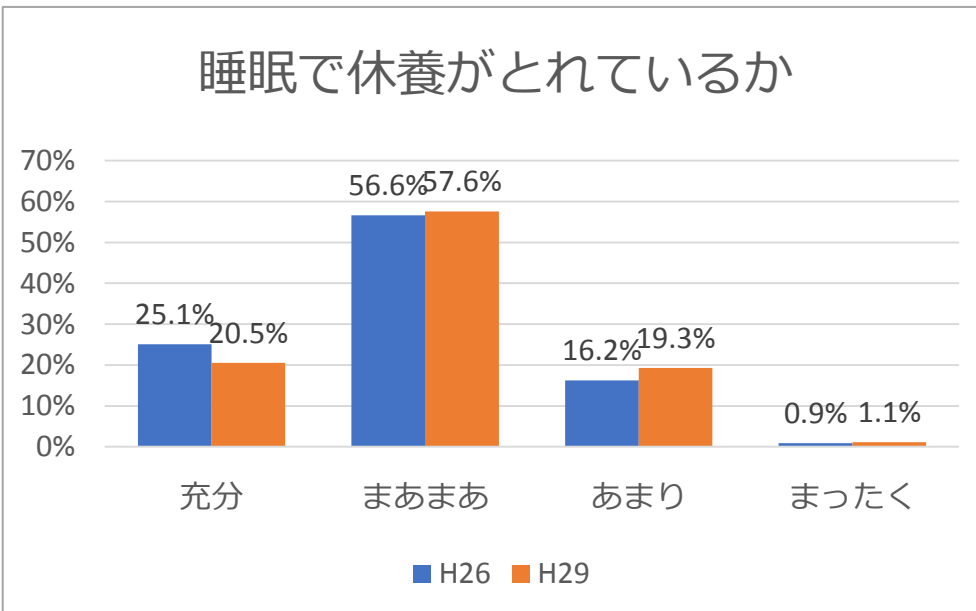
行政

- 食事と健康管理の情報を提供する
- 食育の推進をする

北栄町の健康に関する施策（3）心の健康づくり



〇暮らしと健康に関するアンケート（H29）より



問題・課題

自死の割合が高い。
心の相談窓口を知らない人が多い。
睡眠で休養が取れていない人が増えている。

それぞれができること

地域や団体

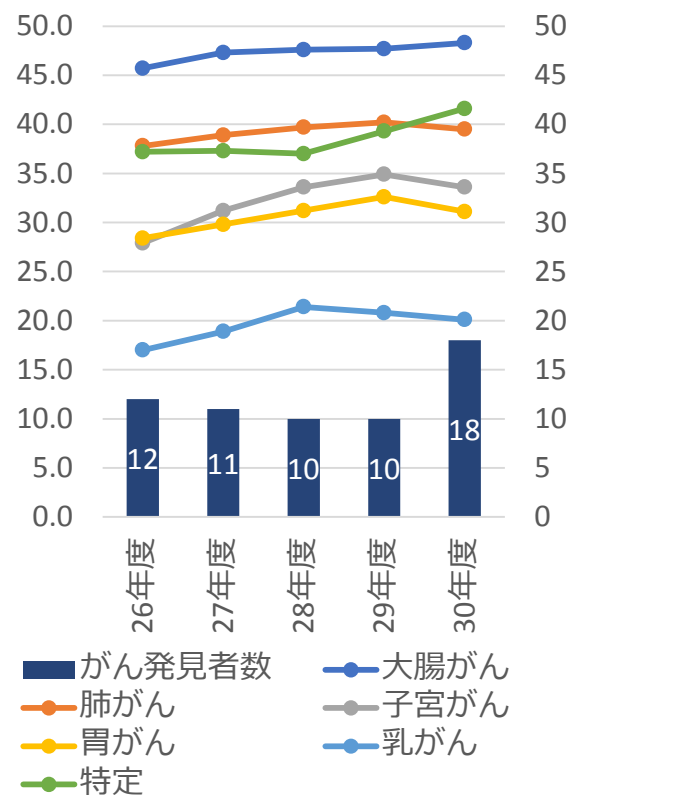
- 地域でつながりを持つ。
- 事業所で健康管理にとりくむ。

行政

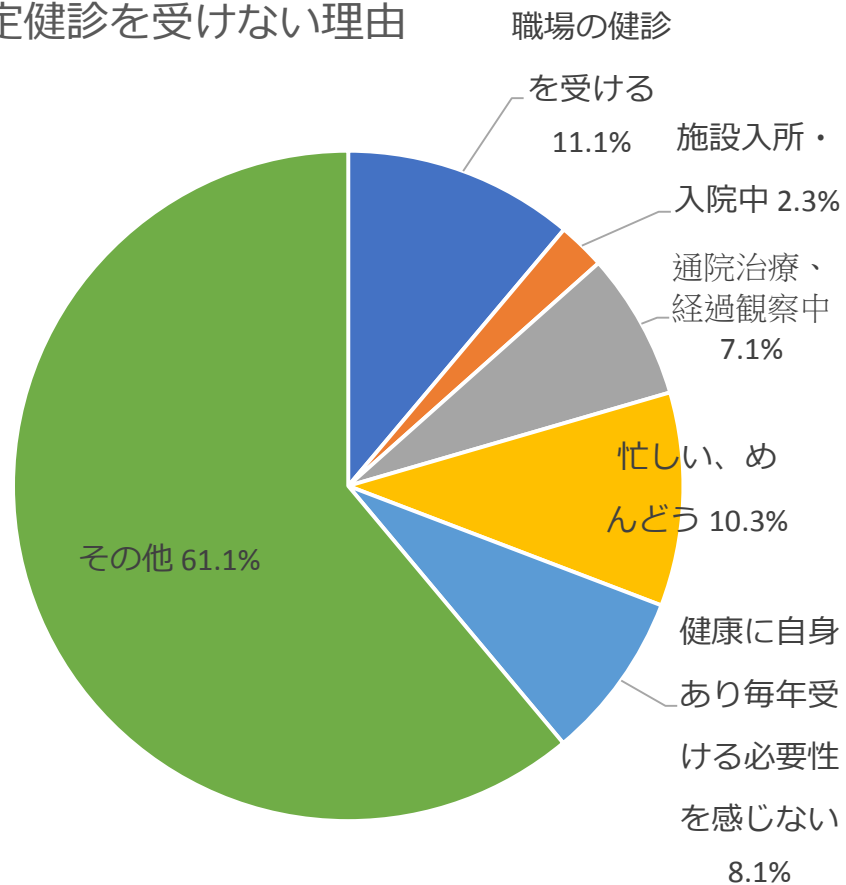
- 心の健康づくりのための環境を整備する。

北栄町の健康に関する施策（４）健康診査の充実

がん検診・特定健診受診率 (%) (人)



特定健診を受けない理由



問題・課題

特定健診やがん検診の受診率が50パーセント未満。

それぞれができること

地域や団体

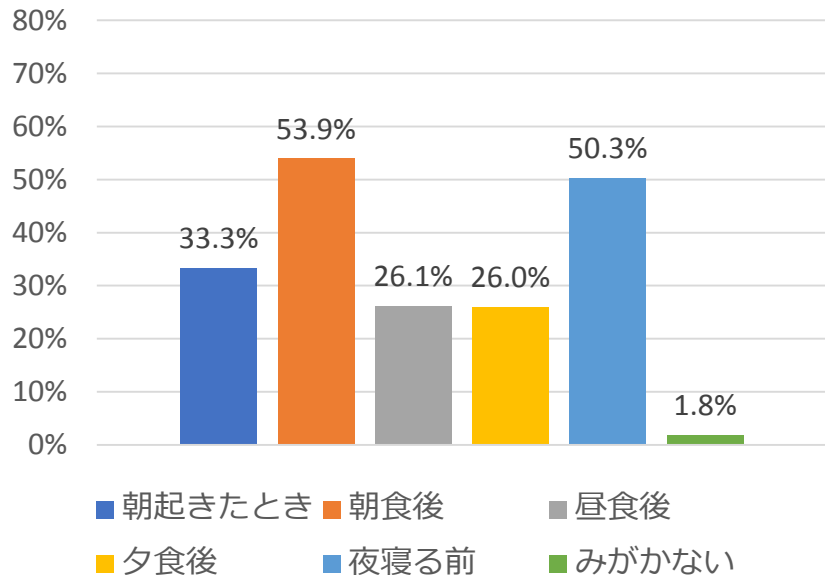
- 学校や保育所等で健康に関心を持つ。
- 地域で健康づくりに取り組む。

行政

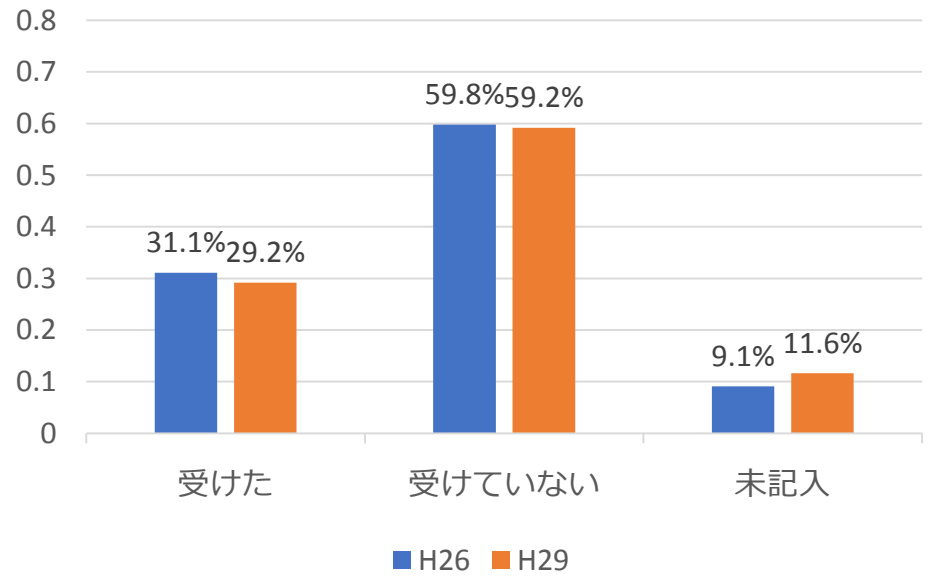
- 健康診査を受けやすい環境を作る。
- 健康診査の結果に基づいた健康づくりを推進する。
- 健康ポイントラリーの充実

北栄町の健康に関する施策（５）生活習慣病の予防

歯磨きをしているか



この1年に歯科検診を受けたか



問題・課題

口腔環境が全身の健康に関わることを知らず歯に関する関心が低い。
歯の健診を受ける人が少ない。

それぞれができること

地域や団体

- 歯磨き指導を行い歯の健康を意識づける（こども園や学校）。

行政

- 健診の促進を行い、歯の健康を意識づける。
- 乳幼児期からの歯磨き指導、フッ化物の応用をすすめる。

北栄町における防災関連施策

(1) 災害対応



●H28 鳥取県中部地震

(マグニチュード6.6 最大震度6弱)

⇒罹災証明発行世帯数 2,200件

⇒住宅再建支援、修繕支援 290百万円

●北栄町防災マップ[°] (H3 1. 3作成)

⇒H31.4 全戸配布。転入者への配布。地域の災害リスクを表示。

●自主防災組織の育成

※「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための組織。

⇒47自治会で組織化。(自衛消防団、女性消防隊 54組織)

⇒自治会総合交付金で活動支援(防災器具、消防器具、訓練活動への補助)

●防災士の育成

※「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得した人

⇒R2末見込み・・・30人(今年受講10人)

●防災無線の整備

⇒告知機を全戸に貸与

北栄町における防災関連施策

(2) 空家対応

●空家数

⇒R1 9月末現在・・・314戸

⇒内、危険（特定空家を含む）とされる空家 45戸

●町の対応

⇒危険な空家の所有者に対し、指導・助言・勧告・命令などを実施。

⇒空家解体助成（補助率4/5（一定の条件あり））

R1年度末 29戸の解体見込み

